

千葉大学医学部附属病院で治療された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年11月28日

婦人科

婦人科では、「子宮癌治療後の下腿浮腫に対する柴苓湯の効果・安全性に対する後方視的研究」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2017年1月1日～2022年12月31日の間に子宮癌治療後の下腿浮腫
に対して柴苓湯を使用した方

1. 研究課題名

「子宮頸がん、子宮体がん治療に伴う

下腿浮腫の柴苓湯の効果・安全性に関する後方視的研究」

2. 研究期間

2023年承認日～2024年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

子宮頸がん、子宮体がんの治療である手術・放射線治療・抗がん薬治療によりしばしば下腿浮腫を発症しますが、一度発症してしまうとマッサージや弾性ストッキングなど方法以外の有効な治療法が乏しいのが現状です。その中で、薬物治療として漢方薬の柴苓湯（さいれいとう）によりしばしば下腿浮腫の改善を認め、効果を実感しています。この研究の目的は、子宮癌の治療後の下腿浮腫に対して、柴苓湯は効果があるか、安全

か、を調べることです。方法は、2017年から2022年に子宮癌の治療後の下腿浮腫に対して柴苓湯を使用した方を、診療録（電子カルテ）を用いて振り返り、有効であったか（問診による自覚症状の変化）、副作用があったか、を調べます。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙歴など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、血液検査値、がんの部位・病期など、柴苓湯内服後の問診など

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：婦人科 助教 羽生裕二

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院婦人科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

婦人科 助教 羽生裕二

043 (222) 7171 内線6611